

第6期 亀田地区公民館運営審議会（第1回） 会議次第

日 時 平成29年6月26日(月) 午後3時～
会 場 江南区文化会館 講座室1

1 開 会

2 館長あいさつ

3 委員及び職員自己紹介

4 議長・副議長選出

※ 議長・副議長あいさつ

5 議 事

(1) 平成28年度各公民館事業報告について

- 各公民館の事業報告について
- 公民館事業評価について

(2) 平成29年度新潟市公民館事業の基本方針及び各公民館事業計画について

- 平成29年度新潟市公民館事業の基本方針について
- 各公民館の事業計画について

6 その他

7 閉 会

平成28年度 公民館事業報告

H29. 3. 31現在

亀田地区公民館														
重点化	番号	事業名	事業内容	開設数	対象	回数	開催月	時間帯			募集人数	参加者数	延参加者数	連携・共催
								午前	午後	夜間				
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	お亀楽縁	地域間の希薄な関係を見直し、ご近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材を育成	1	総合	12	4～3月		○		—	201	201	江南区社会福祉協議会
	2	中・高校生向け学習室	第2・第4土曜日に学習室を開放	1	青年	24	4～3月	○	○		—	97	97	
	3	子ども夏まつりin KAMEDA	亀田地区青少年育成協議会と連携し、科学に関する工作体験活動を実施	1	少年	1	8月		○		—	105	105	亀田地区青少年育成協議会
	4	家庭教育講演会	亀田地区青少年育成協議会と連携し、家庭教育に関する講演会を実施	1	成人	1	11月		○		—	400	400	江南区PTA連合会
	5	ふれあいスクール事業【公民館出前講座】	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座を実施	2	総合	3	9月	○			10	11	31	亀田中学校・地域教育コーディネーター
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業					総合	1	10月		○		—	49	49	丸山小学校・地域教育コーディネーター
	6	ブレマママバ講座	妊娠中の親が安心して子育てができるための講座	1	成人	3	5～6月	○			20	22	49	
	7	乳児期家庭教育【ゆりかご学級2期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う	1	成人	5	6～7月	○			30	25	118	
	8	乳児期家庭教育【ゆりかご学級4期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う	1	成人	5	1～2月	○			30	21	91	
	9	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育における課題を学び合う	2	成人	3	9月	○			25	17	51	対象:2～3歳児の子を持つ親
						3	12月	○			25	16	34	対象:1歳児の子を持つ親
	10	児童期家庭教育学級	児童期の家庭教育における課題を学び合う	2	成人	4	6～7月	○			20	26	80	
						2	3月	○			25	46	60	
	11	父親学級	父親としてのあり方を考える。	1	成人	7	6～9月	○	○	○	20	18	116	
	12	カムかめねっと編集	子育て情報誌の編集	1	成人	15	5～3月		○		—	6	50	
	13	プチプチひろば	0歳児と保護者のための居場所	1	総合	24	4～3月	○			—	339	339	
14	おはよう朝ごはん料理講習会【亀田小コミ協】	子どもたちの基本的な生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり・組織づくりを推進	1	総合	1	11月	○	○		—	33	33	亀田小学校・亀田小コミ協	
15	おはよう朝ごはん料理講習会【亀田東小コミ協】		2	総合	1	10月	○	○		—	55	55	亀田東小学校・亀田東小コミ協	
					1	11月	○	○		—	51	51	亀田東小学校・亀田東小コミ協	
16	おはよう朝ごはん料理講習会【早通小コミ協】		1	総合	1	10月	○	○		—	36	36	早通小学校・早通小コミ協	
4. 青少年の生きる力を育む事業	17	学習室【夏休み・春休み】	夏休み及び春休み期間中、学習室の開放	1	青年	37	7～8月	○	○		—	192	192	
						18	3～4月	○	○		—	51	51	
	18	子ども体験事業	学校区を超えての仲間と様々な体験を通じ、助け合うこと・協力することを学ぶ	3	少年	1	8月	○			25	14	14	長岡工業高等専門学校
						1	1月	○	○		20	12	12	
1						3月	○	○		20	20	20		
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	19	福寿大学	高齢者の自主活動の支援、生きがいを見出す	1	高齢者	140	4～3月	○	○		222	222	5,180	
7. その他	20	芸術に親しむセミナー	芸術に親しむための講座を開催	2	成人	3	2～3月	○			15	20	51	定員を超える総数68名の申込みがあったため追加講座開催
						3	3月	○			20	20	53	
	21	公民館体験学習	学習サークルの体験学習	1	成人	1	3月	○	○	○	—	9	9	公民館利用団体
	22	かめだ音楽祭	合唱・演奏団体の発表	1	総合	1	11月		○		—	539	539	かめだ音楽祭実行委員会
	23	亀田地区市民文化展	作品展示・茶席ほか	1	総合	1	11月	○	○		—	1,559	1,559	亀田地区市民文化展実行委員会
合計				30		324					527	4,232	9,726	

大江山公民館															
重点化	番号	事業名	事業内容	開設数	対象	回数	開催月	時間帯			募集人数	参加者数	延参加者数	連携・共催	
								午前	午後	夜間					
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	地域の茶の間【大江山地区】	大江山地区コミ協、江南区社会福祉協議会などと連携し、地域で支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材育成を支援	1	高齢者	12	4～3月		○		—	53	53	大江山地区コミ協・江南区社会福祉協議会	
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	2	おはよう朝ごはん料理講習会【大江山小コミ協】	子どもたちの基本的な生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり・組織づくりを推進	1	総合	1	10月	○	○		—	33	33	丸山小学校・大淵小学校・大江山地区コミ協	
7. その他	3	大江山地区文化とスポーツの祭典	作品展示・芸能発表会のほか、各種スポーツ大会を開催	1	総合	1	11月	○	○		—	730	730	大江山地区文化とスポーツの祭典実行委員会	
合計				3		14						0	816	816	

平成28年度 公民館事業報告

H29. 3. 31現在

曾野木地区公民館																
重点化	番号	事業名	事業内容	開設数	対象	回数	開催月	時間帯			募集人数	参加者数	延参加者数	連携・共催		
								午前	午後	夜間						
記入例	1	●●●講座	地域間の希薄な関係を見直し、ご近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材を育成	1	総合	12	〇月	〇	〇					・江南区健康福祉課 ・〇〇コミュニティ協議会		
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	まなびやサロンそのき	年間をとおして子どもから高齢者までが楽しめる学びの場。フルート演奏・スイカ割り大会・人形劇鑑賞など	1	総合	14	4月～3月	〇	〇		—	954	954	社会福祉協議会・曾野木小学校教育コーディネーター・曾野木小学校PTA・公民館活動協力員		
			企画会議			12					—	10	130			
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	2	曾野木地区青少年健全育成大会	青少年の健全育成について	1	総合	1	11月		〇		—	65	65	曾野木地区青少年健全育成協議会		
	3	もっともっと元気になる香りをつくろう	・アロマルームコロンで気分スッキリ爽快 ・魔法のせっけんで肌トラブル知らず ・コロロもしっとりオイルで痛み知らず	1	総合	3	2月	〇			10	11	33	曾野木小学校 曾野木小学校教育コーディネーター		
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	4	乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級) I 期	乳児期の家庭教育について考える	1	成人	5	5月～6月	〇			30	29	130			
			保育			5					20	29	129			
	5	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育について考える	1	成人	5	6月～7月	〇			30	41	156	企画委員		
			企画会議			5					2月～5月	—	3	15		
			保育			5					6月～7月	18	38	140		
	6	子育てサロンぼっかぼか	親子の居場所と情報交換	1	成人	22	4月～3月	〇			—	249	249			
	7	保育者研修会	保育者との情報交換	1	成人	3	4月・8月・3月	〇			—	57	57			
4. 青少年の生きる力を育む事業	8	そのキッズ	きもだめし大会	1	少年	1	7月			〇	30	53	53	公民館活動協力員、教育コーディネーター、まなびやサロンそのきスタッフ		
			きもだめし大会企画会議	1	少年	3	5月～7月			〇	—	26	43			
			子ども料理教室(曾野木)	1	少年	1	8月	〇			20	24	24			
			子ども料理教室(曾野木)	1	少年	1	12月	〇			20	31	31			
			子ども料理教室(東曾野木)	1	少年	1	2月	〇			20	21	21			
			夏休みこども映画会	1	少年	1	7月			〇	—	60	60			
9	子どもの居場所	小中高校生のフリースペース	1	小・中・高生	347	4月～3月	〇	〇		—	676	676				
10	学習室解放事業	個人学習の支援	1	小・中・高生	83	4月～3月	〇	〇		—	199	199				
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	11	高齢者いきいき教室	高齢者がいきいきと楽しく学べるもの(吹き矢教室)	1	高齢者	5	9月		〇		30	27	114			
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	12	そのき市民学級	現代的課題を考える	1	総合	7	6月～12月	〇			100	103	560	そのき市民学級実行委員会		
			企画会議			6					2月～5月	〇	〇		—	4
	13	共生セミナー	男女共同参画社会の実現に向けて自身の生き方と女性の抱えている問題を考え解決策をさぐる	1	成人	5	9月～10月	〇			40	39	166	・広聴相談課 ・企画委員(前年度受講生、公民館活動協力員)		
			企画会議			7					5月～8月	〇	—		7	49
			保育			5					9月～10月	〇	17		17	64
	14	そのきミュージックフェスティバル	洋楽器・コーラスの発表	1	総合	1	7月	〇			—	140	140	ミュージックフェスティバル実行委員会		
			企画会議			2					5月～7月		〇		—	6
	15	曾野木地区文化祭	作品展示、音楽芸能発表会	1	総合	1	10月	〇	〇		—	710	710	曾野木地区文化祭実行委員会		
企画会議			3			8月～10月						〇	—		40	40
合 計				20		560					385	3,669	5,032			

平成28年度 公民館事業報告

両川公民館														
重点化	番号	事業名	事業内容	開設数	対象	回数	開催月	時間帯			募集人数	参加者数	延参加者数	連携・共催
								午前	午後	夜間				
記入例	1	●●●講座	地域間の希薄な関係を見直し、ご近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材を育成	1	総合	12	○月	○	○					・江南区健康福祉課 ・〇〇コミュニティ協議会
4. 青少年の生きる力を育む事業	1	子ども映画会	夏休み子ども映画会	1	少年	1	8月		○		—	45	45	
		子ども体験教室	異年齢児童がかかわる中で集団での協調性や主体性を養い、仲間づくりを進める(木工教室)	1	少年	1	8月	○				5	5	地域教育コーディネーター
7. その他	2	両川地区文化祭	作品展示、チャリティバザーほか	1	総合	1	11月	○	○		—	97	97	利用団体連絡協議会
			企画会議			2	6月・7月		○		—	4	8	
合 計				3		5					0	151	155	

平成28年度 公民館事業報告

横越地区公民館														
重点化	番号	事業名	事業内容	開設数	対象	回数	開催月	時間帯			募集人数	参加者数	延参加者数	連携・共催
								午前	午後	夜間				
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	横越地区昔話語り部養成講座	昔話を通して、地域の文化を伝え、一層の文化・伝統の醸成を図る。	1	総合	17	5~3	○			20	14	225	新規
	2	婚活『そば打ち体験』	地域の活性化には、少子高齢化が大きな課題であり、その一助として男女の出会いの機会を提供することを目標として開催した。	1	成人	1	11	○	○		50	19	19	横越コミュニティ協議会
	3	横越地区親善スポーツ大会	スポーツ大会を通して、地域の連帯意識の向上と親睦を図る。	1	総合	1	6	○	○		無	65	65	地域公民館・自治会 横越コミュニティ協議会 横越スポーツ振興会
	4	よこごしふれあいウォーク2016	横越地区内のポイントをつなぐウォークにより、地域を知りながら親睦を図る。	1	総合	1	10	○	○		無	313	313	地域公民館・自治会 横越コミュニティ協議会
	5	文化祭	横越地域で活動している市民の作品展示およびイベント	1	総合	1	1	○	○		無	300	300	
	6	新春俳句大会	発表会と親睦を兼ねた俳句会	1	成人	1	1	○			無	16	16	
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	7	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】	乳児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	1	成人	5	9・10	○			30	20	87	
	8	幼児期家庭教育学級【すくすく学級】	幼児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	1	成人	5	6・7	○			20	20	81	
	9	児童期家庭教育学級【わくわく学級】	児童期の子どもの発達や親子のコミュニケーションの重要性を学ぶ	1	成人	2	3	○			15	5	6	
	10	思春期家庭教育学級【きらきら学級】	思春期の子どもの発達、親子のコミュニケーションを深めるためのスキルを学ぶ	1	成人	3	11・12	○			15	13	34	
	11	子育てひろば	乳幼児の親子の仲間づくり、情報交換、親子遊び、絵本の読み聞かせ。	1	成人	18	4~2	○			無	351	351	
4. 青少年の生きる力を育む事業	12	子ども体験活動	小学生対象の夏休み時に実施する体験事業	1	少年	1	8	○	○		40	30	30	
	13	夏休み子ども映画会	DVD上映(アニメ・必要課題)	1	総合	1	8	○			無	30	30	
	14	春休み子ども映画会	DVD上映(アニメ・必要課題)	1	総合	1	3	○			無	50	50	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	15	いきいきセミナー	生きがいと教養を身につける高齢者対象の講座	1	高齢者	9	5・6・7・8・9・10・11・1・2	○	○		24	25	174	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	17	女性セミナー	男女の役割を見直し、生活技術を身につける。地域の仲間づくり推進とコミュニケーション能力を身につける。	1	成人	5	11・12	○			20	20	70	
	18	太極拳入門講座	公民館の利用団体数が減少していることから、グループ結成しやすい講座を開催し、グループ成立に向け開催する。	1	成人	2	2	○			30	40	70	
	20	俳句入門講座	現在俳句を愛好する人が減少している。俳句を学ぶことにより、地域の素晴らしさを再発見し、地域文化を継承する機会として開催する。	1	総合	4	11・12・2	○			20	11	39	新規
合 計				18		78					284	1,342	1,960	

平成28年度事業評価シート(亀田地区公民館)

総事業数(26)

1. コミュニティ(2) 2. 学社民(4) 3. 家庭教育(12) 4. 青少年(2) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(0) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	2 事業 ・お亀楽縁 ・地域の茶の間(大江山)				4 事業 ・中高生向け学習室 ・子ども夏まつりinKAMEDA ・家庭教育講演会 ・ふれあいスクール(公民館出前:2)				15 事業 ・家庭教育学級(6) 〈ブレ、乳児、幼児、児童、父親〉 ・情報誌「かむかめネット」発刊 ・子育てサロン「ブチブチひろば」 *おはよう朝ごはん料理講習会(4)				2 事業 ・子ども体験事業 ・学習室(夏・春)			
ねらい	地域課題・社会的課題をテーマに地域住民等による学習機会を提供し、地域コミュニティづくりの推進と人材育成の支援を行う。				学・社・民の総合連携により、豊かな人間性を培い、地域教育力の向上を支援する。				家庭教育の自主性を尊重しながら、乳児期・幼児期・児童期等の子を持つ親に学習機会を提供するとともに仲間づくりの支援を行う。				体験学習を通じた異学年交流を積極的に展開し、青少年の健全育成を図る。			
成果	サークル結成数	目標値	結果	コメント	サークル結成数	目標値	結果	コメント	サークル結成数	目標値	結果	コメント	サークル結成数	目標値	結果	コメント
	企画委員希望者数		-		企画委員希望者数		2人	※ふれあいスクール	企画委員希望者数		27人	※乳児(6)、幼児(5)、児童(6)、父親(10)	企画委員希望者数		-	
	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	※ふれあいスクール	受講者の満足度(平均値)	80%	94%	※全家庭教育学級	受講者の満足度(平均値)	80%	92%	どの開催も高い満足度となった
	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	※ふれあいスクール	受講者の気づき(平均値)	80%	91%	※全家庭教育学級	受講者の気づき(平均値)	80%	100%	
	その他成果(品)及びその活用等			地域の茶の間(大江山)について、コミュニティ協議会の自主開催が可能となった。	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			受講生によるサークル登録	その他成果(品)及びその活用等			
評点	必要性(平均値)	2.5		新しいリーダー育成が急務である	必要性(平均値)	4		育成協、学校との連携は今後も必要である	必要性(平均値)	4		特に家庭教育学級の満足度は高く、企画委員の希望も多い	必要性(平均値)	4		学校、家庭ではできない体験は今後も継続が必要である
	有効性(平均値)	4			有効性(平均値)	4		連携実施後の検証も今後は行いたい	有効性(平均値)	3.3		連続講座の受講回数(欠席など)について検討が必要である	有効性(平均値)	4		各種施設や団体との連携を今後も継続したい
	効率性(平均値)	3.5		運営方法など今後検討が必要である	効率性(平均値)	4		各種団体との連携により効率的な事業となった	効率性(平均値)	4		健康福祉課の協力などを取り入れた	効率性(平均値)	4		講師の派遣を利用するなど、効率的な実施となった
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域の茶の間事業について、世代を問わず利用者の幅は広がっているが、活動を支え、運営する人材の発掘、育成が必要である。				各種団体との連携による事業は、実施後の検証を行い、その必要性、有効性、効率性について評価する必要がある。また、評価に基づいた連携、実施方法を考える必要がある。				家庭教育学級(連続講座)について、参加者の欠席や申込時の受講可能回数について、事業開催の形態などの検討が必要である。サークル化においては公民館職員として講座のねらいなどを積極的に伝えていく必要がある。				子ども体験事業を活用して、地域のジュニアリーダーなどの育成が当面の課題である。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
			1	1		3			1	8	1			2		
	<コメント> 人材が固定化され、地域づくりのリーダー育成が遅れていると感じる。将来的な地域のあり方を、人材育成を含めコミ協等を交え協議検討をしていきたい。				<コメント> 公民館と学校との連携が希薄に感じる中で、ふれあいスクール事業は有意義な事業であった。今後も公民館で協力できることと学校側が求めていることなど、情報を共有し地域の教育力の向上を図りたい。				<コメント> 講座内容や開催時期または対象者のニーズなど、既成概念にとらわれず企画提案し実施することができているので、今後も継続していきたい。				<コメント> 参加した子どもからのアンケートに様々な意見が寄せられていることから、その実現に必要な課題を整理し、今後は人材育成も念頭に企画実施していきたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1 事業・福寿大学				事業			
ねらい	超高齢化社会を迎える中で、高齢者自らが生きがいや教養を身につけ地域社会に共存できるよう支援する。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	-		サークル結成数			
	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	高齢者の学び、つながる場として今後も必要である		必要性(平均値)			
	有効性(平均値)	4	受講者の範囲拡大や連携機関などの検討を行いたい		有効性(平均値)			
	効率性(平均値)	4	運営委員による実施		効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	超高齢化社会の現在、福寿大学は必要な事業であると考え、受講者が亀田地区に集中していることから、他地域への呼びかけや地域の特性を活かした新たな学習機会の提供の場を構築する必要がある。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1						
評価区分	<コメント> 福寿大学は超高齢化社会において、受け身の学習ではなく、仲間づくりや健康づくりに大いに寄与していることから、今後はこの範囲をさらに広げていきたい。				<コメント>			
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

家庭教育が充実し満足度が高いが、参加の連続受講要件の緩和について検討が必要である。
 ゆりかご学級を受講することで、初めて公民館を利用する人が多いことから、周知の面でも大切な講座である。
 地域の茶の間は、地域と運営などの協議を行ってほしい。
 各事業とも有効な事業が行われている。
 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業の事業評価が、他の事業に比べ低い点が気になる。地域づくりのリーダー育成について、早急に取り組んでほしい。
 連続講座の在り方について、よい事業を企画しても参加者が少ないのは残念である。
 参加要件などについて検討をしてほしい。
 現代的課題を探り、解決を支援する事業についての取り組みを行ってほしい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成28年度事業評価シート(曾野木地区公民館)

総事業数(19) 1. コミュニティ(1) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(4) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(2) 7. その他(2)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	1事業 地域の絆1				2事業 出前講座1・連携イベント1				4事業 家庭教育学級2・サロン1・保育者交流1				7事業 体験活動5・居場所1・学習室1							
ねらい	地域コミュニティの活性化を図るために地域住民と連携し、地域の人を元気にする事業を展開する。				学校と連携した事業を開催することで地域の人々が学校に親しみを持ち、学校ボランティアにかかわるきっかけをつくることを目指す。				乳幼児の子どものごころと身体の成長発達を学びながら同世代の子どもを持つ親同士交流を深め、子育てについての不安や悩みを軽減するとともに、人となりがり仲間をつくる機会となるよう支援する。				様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かなごころを育むための事業を展開する。また、異年齢や他校の子どもたちとの交流の場になるよう支援する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				有	1	ゆりかご学級からサークル	サークル結成数								
	企画委員希望者数	/	10	まなびやサロンの企画委員が10人	企画委員希望者数	/			/	3	幼児期家庭教育学級の企画委員が3人	企画委員希望者数	/							
	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	幼児期の満足度は高く100%であった。	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施				
	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	80%	65%		受講者の気づき(平均値)	80%	80%	学習意欲が高くサークルになった。	受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施				
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	多世代交流ができるような事業を開催していく必要がある。			必要性(平均値)	3	内容を変えて実施していきたい。			必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。			必要性(平均値)	3.9	意図したことが十分結果に結びついている。		
	有効性(平均値)	4	学校・地域と一緒に進んでいる地域づくりのための事業			有効性(平均値)	4	地域のつながりができ、満足度も100%と高評価。			有効性(平均値)	3	達成度は満足いく結果であり、継続して実施することが必要。			有効性(平均値)	3.7	体験活動は、きもだめしも料理教室も大人気で参加者も増え		
	効率性(平均値)	3	スイカ割りのスイカ代がかかるので実費負担も検討。			効率性(平均値)	4	花育マスター制度の利用で良かった。			効率性(平均値)	3.5	適当だった。			効率性(平均値)	3.7	体験活動に予算がかかった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	スタッフを募集しマンネリ化を防ぐ。また、自主的に運営していけるよう助言・指導をしていく。				今年度は、曾野木小学校と連携し会場も学校で行った。曾野木地区は両川も含めて5校の小中学校があるので順次学校を会場にして開催していきたい。				応募者が定員を大幅に超えてしまうほど必要とされている講座である。なんとか一人でも多くの人から学んでいただきたいので事業費を増やしてほしい。				子ども事業は、公民館活動協力員とボランティアスタッフの人の力を借りて開催されている。地域の人など子どもを見守ってくれる人材の育成が必須である。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		1				1				4					7					
	<コメント>この事業は、沢山の地域のの人に理解と協力をいただき開催されている。この事業が地域になくしてはならない存在になってくれることを願っている。あと数年で地域のみなさんが自立し開催できるよう指導していきたい。				<コメント>3回と短い講座だったが、「この講座をきっかけに小学校に来ることができました」と喜んでくださった方がいました。小学校の教育コーディネーターの方の協力をいただき実現した。				<コメント>家庭教育学級は、公民館の事業の中でも大切な事業になっている。子どもの発達の特徴を学んだり、親の不安を少しでも軽くしたりする学習である。初めて親になる人のために今後も開催していかなければならない事業である。				<コメント>定番のきもだめし大会は年々参加者が増えている。子どもたちに喜んでもらえる事業の企画をしていきたい。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 高齢者いきいき教室				2事業 人権講座1・市民学級1			
ねらい	健康でいきいきと暮らすための生きがいを見つけ、楽しい毎日を過ごすためのきっかけづくりとする。				様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとってより良い事業を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有	1		サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			人権講座に7人 市民学級に4人
	受講者の満足度(平均値)	80%	87%	手作り矢の作製は満足度が高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%	87%	どちらの講座も男性の参加が増えた。
	受講者の気づき(平均値)	80%	65%	健康のため継続していきいたいと思う人が多かった。	受講者の気づき(平均値)	80%	85%	参加したことで沢山の気づきがあった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。		必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。	
	有効性(平均値)	3	参加者の満足度は高かった。		有効性(平均値)	3	お互い尊重し楽しく学ぶことができた。	
	効率性(平均値)	4	手作りの吹き矢のため安価でできた。		効率性(平均値)	3.5	適当だった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	自主運営の定着が求められる。会員数を増やせるよう公民館もバックアップしていくことが必要。				男性の参加が多い講座ではあるが、まだまだ少ない。なんとか男女の割合が半分半分になるような企画ができるようにしたい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				2		
	<コメント> 自主グループになり来年度の定期利用登録をするなど積極的に活動していることは高く評価できる。また、代表者を自主的に選出するなど良い点もみられる。				<コメント>参加者も多世代にわたり、人権について学習したり現代的課題をみつけ学ぶことは大切である。企画委員と一緒に企画運営することは、学習の幅を広げるだけでなく、沢山の情報を得ることができる。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

出前講座では学校と地域がつながる機会が生まれ、有意義な講座となっている。
 公民館が皆野木小学校と隣接しており、低学年から気軽に利用していることから、認知度は非常に高い。
 今後は、企画委員のアイデアで実施する「まなびやサロン」の成功を期待する。
 子ども体験教室では、学校や地域のイベントなどの日程などを考慮し企画してほしい。
 各事業とも有意義な事業が行われている。企画委員や地域の協力を得て実施している事業が多く有効にはたっている。
 講座終了後の自主グループ立ち上げや運営サポートなど、今後もきめ細かく行ってほしい。
 少ない予算をいかに工夫し成果を上げていくかが大切である。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成28年度事業評価シート(両川公民館)

総事業数(3) 1. コミュニティ() 2. 学社民() 3. 家庭教育() 4. 青少年(2) 5. 高齢者() 6. 現代的課題() 7. その他(1)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業				
事業数	事業				事業				事業				7事業 体験活動5・居場所1・学習室1				
ねらい													様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かなこころを育むための事業を展開する。また、異年齢や他校の子どもたちとの交流の場になるよう支援する。				
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数				
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/			
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		アンケート未実施	
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			
	必要性(平均値)				必要性(平均値)				必要性(平均値)				必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。		
	有効性(平均値)				有効性(平均値)				有効性(平均値)				有効性(平均値)	4	ものづくりの参加者は少なかったが今後も内容を変えて実施		
	効率性(平均値)				効率性(平均値)				効率性(平均値)				効率性(平均値)	4	適当だった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				
改善点													子ども事業は、公民館活動協力員とボランティアスタッフの人の力を借りて開催されている。地域の人など子どもを見守ってくれる人材の育成が必須である。				
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
										4				2			
評価区分	<コメント>				<コメント>				<コメント>				<コメント>子どもたちが集まりにくい環境にあり、呼びかけをするなど手をつくしたが、参加者が少なかった。来年度は子どもたちに喜んでもらえる事業の企画をしていきたい。				
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	事業				事業			
ねらい								
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数			
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/		
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%		
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%		
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)				必要性(平均値)			
	有効性(平均値)				有効性(平均値)			
	効率性(平均値)				効率性(平均値)			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点								
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	<コメント>				<コメント>			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

両川公民館への支援もお願いしたい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成28年度事業評価シート(横越地区公民館)

総事業数(18) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民() 3. 家庭教育(5) 4. 青少年(3) 5. 高齢者(1) 6. 現代的(3)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	6 事業 地域学・スポーツ大会・ふれあいウォーク等				事業				5 事業 家庭教育 4・子育てひろば 1				4 事業 体験活動 1・映画会 2							
ねらい	地域団体・地域住民と共に学習機会やイベント等を開催することにより, 地域コミュニティづくりの推進の機会とする。				学・社・民の相互の連携及び協力により, 学校を会場に社会教育活動をおし, 地域に開かれた学校にする機会とする。				家庭教育の重要性・必要性を学ぶと併に, 子育て中の保護者の仲間つくりの機会と情報提供で子育て支援を実施する。				青少年の健全育成を図ると併に, 体験活動をおし異学年の交流を深める機会とする。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	2	1	ゆりかご学級	サークル結成数							
	企画委員希望者数			各種イベントは, 打ち合わせ会議を開催し, 実施	企画委員希望者数				企画委員希望者数		10		企画委員希望者数			各事業打ち合わせ会議を実施				
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	地域学の満足度	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%	95%	満足度は高い。	受講者の満足度(平均値)	80%	95%	異学年の交流が行えた。				
	受講者の気づき(平均値)	80%	80%	地域学の気づき	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%	90%	講座内容が良かったと考えられる。	受講者の気づき(平均値)	80%						
	その他成果(品)及びその活用等			地域団体との連携が良く行われている。	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			自主サークルが結成されたが, その後フォロアップが大切になる。	その他成果(品)及びその活用等			活動協力員や中学生など, 多くの方から協力を得て実施出来た。				
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	地域行事として定着して来ている。			必要性(平均値)					必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。			必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。		
	有効性(平均値)	4	地域団体の連携に繋がっている。			有効性(平均値)					有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。			有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。		
	効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。			効率性(平均値)					効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。			効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	今年度から地域公民館補助金が廃止されたことから, 地域団体との連携事業が心配されたが, 今までと同等に実施することができました。これからも, 地域団体と連携を深めより良い事業を実施して行きたい。				小・中学校との事前打ち合わせを早め実施し, 来年度は必ず実施する。				市民による企画委員会の要求課題をプログラムに取り入れることにより, 満足度の大会事業が展開されているし, 自主グループも出来ていることから, 満足しているが, 毎年, 同じ講師になりがちなので, 新たな講師の発掘し実施する。				学校で体験出来ない事業を取り入れ, 地域住民を講師に招き地域とのふれあいを大切にしてほしい。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		6								5				1	2					
評価区分	<コメント> 地域行事として定着してきていることから, 今以上のコミュニティ活性化に向け, 継続してほしい。				<コメント> 今年度, 小・中学校との事前打ち合わせが旨く行かず, 地下道清掃ボランティア活動が実施出来なかった。				<コメント> 児童期家庭教育学級の参加者数が少ないことから, 開催時期・内容等に相違工夫をして実施してほしい。				<コメント> 事業内容に今以上の相違工夫をし, 異学年の交流及び地域との交流も深めてほしい。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1 事業 いきいきセミナー				3 事業 女性セミナー・俳句入門・太極拳入門			
ねらい	高齢者を対象に、生きがいと教養を身につけると共に、講座で得た知識や生き方などを地域社会に役立てる機会とする。				現代課題である地域課題及び人権問題等をテーマに学習機会を提供し、受講生がともに考える機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	1	0	参加者が自ら学ぼうとする自主性を育てることが必要である。	サークル結成数	2	2	俳句・太極拳グループ成立
	企画委員希望者数				企画委員希望者数		8	
	受講者の満足度(平均値)	80%	92%		受講者の満足度(平均値)	80%	97%	満足度が高い。
	受講者の気づき(平均値)	80%	65%	生きがいが中心のプログラムであるため低い。	受講者の気づき(平均値)	80%	85%	気づきが多かった。
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			企画委員会議の成果がプログラムや講師依頼に反映され、受講者の満足度に繋がっている。	
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。		必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。	
	有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。		有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。	
	効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。		効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	自主グループ化を目指し、参加者の自主性を尊重しながら、自ら学ぶことの必要性を取り入れたプログラムで開催する。				公民館事業として、自治能力のある市民を育成する必要があることから、講座運営を実施していく上で、運営委員と参加者による役割分担について、考えて実施する。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				3		
	<コメント> リピーターが半数以上の講座に成っているため、プログラム内容を趣味的な内容から必要課題への内容に少し変えて行く必要がある。				<コメント> 公民館定期利用団体の減少が進んでいる中、2グループが成立したことは、成果である。女性セミナーに関しては、引き続き市民の要望等を取り入れて実施する。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

ふれあいウォーク事業は地域団体の絶大な協力を得て実施されており、今後も地域の歴史や文化を知ることのできる有意義な事業であることから継続をお願いしたい。

むかし話語り部養成講座は原稿を見ずに語ることを基本として取り組んでいる。数多くある昔話を大切に保存するとともに、地域の伝統文化を醸成している。

各事業とも、すべて評価が4と高い自己評価がされており、充実した事業内容だったことがうかがえる。

各事業で自主グループが立ち上がっている点は、とても良いことであるが、軌道に乗るまでのサポートをしっかりと行ってほしい。

学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業が全く無いことは残念である。学・社・民の連携は、今後ますます大切になってくる事業なので、来年度は是非取り組んでほしい。

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度 新潟市公民館事業の基本方針

1 はじめに

新潟市は、新潟市教育の大綱（対象期間：平成27年度～31年度）で、目指す市民の姿を「生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民」とし、取り組みの方針に「学・社・民の融合による教育の推進」を掲げました。また、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」（計画期間：平成27年度～34年度）では、目指す都市像の一つである「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を実現するために「学・社・民の融合による教育を推進するまち」を政策の一つに位置付けています。

新潟市教育委員会は平成27年3月、新潟市教育ビジョン第3期実施計画を策定し、生涯学習の目指す方向を、「公民館などの学びの場を核とした、絆づくりと活力あるコミュニティの形成」と「現代的・社会的課題やライフステージなど一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「学校での地域活動拠点づくりや職員の資質向上など、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」と定めています。

新潟市公民館は平成22年9月に「地域に出かけ、住民と一緒に考え、地域の絆づくりを支援する公民館」を宣言しました。

人口減少、少子・超高齢社会を迎え、子どもをはじめ高齢者まで誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの必要性が高まっています。このような中、これからの公民館は、単に学ぶ場だけではなく、地域課題や生活課題の把握に努め、これまで以上に地域に寄り添い、地域づくり・人づくりに資する事業を展開することが重要となります。

2 基本方針

(1) 学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化

市民と地域が、学びを通じてつながりを深め、地域課題や社会的課題に取り組む人材を育成し、地域に絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。

(2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上

学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。

(3) 市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実

子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

3 基本施策

- (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援
- (2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりの推進
- (3) 家庭における教育力向上の支援
- (4) 青少年の生きる力を育む機会の充実
- (5) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
- (6) 現代的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

4 事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域の実情やニーズにあわせた事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、今後の公民館事業の充実を図ります。

平成29年度 公民館事業計画

亀田地区公民館				H29. 6. 1現在						
重点化	番号	事業名	事業内容	H29予算 (千円)	開設数	対象	回数	時間帯	実施 予定月	連携・共催
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	お亀楽縁	地域間の希薄な関係を見直し、ご近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材を育成	70	1	総合	6	午後	通年	江南区社会福祉協議会
	2	活動協力員実施事業「まちあるきと俳句」	活動協力員との連携による企画実施事業	85	1	成人	4	午前	9～10月	
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	3	子ども夏まつりin KAMEDA	亀田地区青少年育成協議会と連携し科学に関する工作体験活動を実施	—	1	少年	1	午後	8月	育成協予算
	4	青少年健全育成講演会	亀田地区青少年育成協議会と連携した講演会	—	1	成人	1	午後	12月	育成協予算
	5	ふれあいスクール事業【公民館出前講座】	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座	—	1	総合	3	午前	随時	各学校地域教育コーディネーター
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	6	プレママパパ講座	妊娠中の親が安心して子育てができるための講座	37	1	成人	3	午前	5～6月	
	7	乳児期家庭教育【ゆりかご学級2期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	206	1	成人	5	午前	6～7月	
	8	乳児期家庭教育【ゆりかご学級4期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	206	1	成人	5	午前	1～2月	
	9	幼児期家庭教育学級	幼児期の家庭教育における課題を学び合う講座	131	1	成人	5	午前	10～11月	
	10	児童期家庭教育学級	児童期の家庭教育における課題を学び合う講座	81	1	成人	4	午前	6～7月	
	11	父親学級	父親としてのあり方を考える講座	41	1	成人	8	午前・午後 夜間	6～9月	
	12	カムかめねっと編集	子育て情報誌の編集	30	1	成人	未定	午後	通年	
	13	プチプチひろば	0歳児と保護者のための居場所	16	1	総合	24	午前	通年	
14	おはよう朝ごはん料理講習会【早通小コミ協】	子どもたちの基本的な生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり・組織づくりを推進する	—	1	総合	1	午前・午後	未定	※生涯学習センター予算	
4. 青少年の生きる力を育む事業	15	中・高校生向け学習室	第2・第4土曜日に学習室を開放	1	1	青年	24	午前・午後	通年	
	16	学習室【夏休み・春休み】(音楽室解放含む)	夏休み、春休み期間中の学習室及び音楽室開放	—	2	青年	未定	午前・午後	7～8月 3月	
	17	江南区子ども映画まつり	江南区文化会館音楽演劇ホールを利用した子ども向け映画上映会	—	1	少年	4	午後	7～8月	
	18	子ども体験事業	学校区を超えての仲間と様々な体験を通じ、助け合うこと・協力することを学ぶ講座	102	1	少年	未定	午前・午後	未定	
5. 高齢者の学習支援や社会参加を促進する事業	19	福寿大学	高齢者の自主活動の支援、生きがいを見出す講座	160	1	高齢者	140	午前・午後	通年	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	20	芸術に親しむセミナー	芸術に親しむための講座	30	1	成人	未定	未定	未定	
	21	江南区文化会館合同事業	公民館・図書館・郷土資料館との連携事業を行うことで、利用者の拡大と交流を図る事業	—	1	総合	1	午前・午後	9月	
7. その他	22	かめだ音楽祭	合唱・演奏団体の発表会	76	1	総合	1	午前・午後	11月	
	23	亀田地区市民文化展	作品展示・茶席ほか	208	1	総合	1	午前・午後	11月	亀田地区市民文化展実行委員会
合 計				1,480	24		241			

大江山公民館										
重点化	番号	事業名	事業内容	H28予算 (千円)	開設数	対象	回数	時間帯	実施 予定月	連携・共催
7. その他	3	文化とスポーツの祭典		—	1	総合	1	午前・午後	11月	
合 計				0	1		1			

平成29年度 事業計画

曾野木地区公民館											
重点化	番号	事業名	事業内容	H29予算 (千円)	開設数	対象	回数	時間帯	実施 予定月	連携・共催	
記入例	1	●●●講座	地域間の希薄な関係を見直し、ご近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材を育成	100	1	総合	12	午前・午後	通年	・江南区健康福祉課 ・〇〇コミュニティ協議会	
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	まなびやサロンそのき	健康・介護・福祉など個人や地域が抱える諸問題について学ぶ。子どもたちとおとなが一緒に楽しめる催しも年4から5回くらい入れていく。	60	1	総合	12	午前・午後	通年	社会福祉協議会・曾野木小学校教育コーディネーター・曾野木小学校PTA・公民館活動協力員	
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	2	おとなの雑学	小中学校の教育コーディネーターと協議し事業内容を決める。	0	1	総合	3	午前	通年	曾野木・東曾野木・両川小中学校教育コーディネーター	
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	3	乳児期家庭教育学級(ゆりかご学級)Ⅰ期	乳児期のこころと身体の発達について考える。	169	1	成人	5	午前	5月～6月		
	4	幼児期家庭教育学級	幼児期のこころと身体の発達について考える。	131	1	成人	4	午前	6月～7月		
	5	子育てサロンぽっかぽか	親子の居場所と情報交換	0	1	成人	21	午前	毎月第2・4月		
	6	保育者交流会	保育者との情報交換	10	1	成人	1	午前	8月		
4. 青少年の生きる力を育む事業	7	そのキッズ	子どもきもだめし大会	0	1	少年	1	夜間	7月	公民館活動協力員、教育コーディネーター、まなびやサロンそのきスタッフ	
	8		夏休み子ども映画会	0	1	少年	1	午後	7月		
	9		工作・レクリエーション・調理など	0	1	少年	2	午前	8月	公民館活動協力員・教育コーディネーター	
	10	子どもの居場所	小中高校生フリースペース	4	1	少年	347	午前・午後	通年		
	11	学習室開放事業	個人学習の支援	0	1	総合	83	午前・午後	4月・7月～8月・12月～1月・3月	毎月第1・3土曜日 長期休み(春・夏・冬)	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	12	高齢者いきいき教室	高齢者がいきいきと楽しく学べるもの	73	1	高齢者	5	午前	9月～10月	公民館活動協力員	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	13	そのき市民学級	現代的課題とタイムリーな話題を取り上げ学習する	120	1	総合	7	午前・午後	6月～12月	そのき市民学級実行委員会	
	14	共生セミナー	男女共同参画社会の実現に向けて自身の生き方を考え共に生きる社会の在り方を学ぶ。	140	1	成人	5	午前	9月～10月	企画委員(前年度受講生・公民館活動協力員)	
7. その他	15	そのきミュージックフェスティバル	洋楽器、コーラスの発表(企画会議実施)	0	1	総合	1	午後	7月	実行委員会	
	16	曾野木地区文化祭	作品展示、チャリティバザー、音楽芸能発表会など	10	1	総合	1	午前・午後	10月	実行委員会	
合 計				717	16		499				

平成29年度 事業計画

両川公民館										
重点化	番号	事業名	事業内容	H28予算 (千円)	開設数	対象	回数	時間帯	実施 予定月	連携・共催
記入例	1	●●●講座	地域間の希薄な関係を見直し、ご近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートするとともに、地域課題解決のための人材を育成	100	1	総合	12	午前・午後	通年	・江南区健康福祉課 ・〇〇コミュニティ協議会
4. 青少年の生きる力を育む事業	1	子どもの映写会	夏休み子ども映写会	0	1	少年	1	午後	8月	
	2	子ども体験教室	工作・レクリエーション・調理など	0	1	少年	1	午前	8月	公民館活動協力員・教育コーディネーター
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	3	両川元気塾	「60歳から始める元気」づくり	0	1	総合	2	午後	11月～12月	新潟県レクリエーション協会
7. その他	4	両川地区文化祭	作品展示、チャリティバザーなど	0	1	総合	1	午前・午後	11月	利用団体連絡協議会
合 計				0	4		5			

平成29年度 公民館事業計画

横越地区公民館										
重点化	番号	事業名	事業内容	H28予算 (千円)	開設数	対象	回数	時間帯	実施 予定月	連携・共催
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	横越地区昔話語り部養成講座 part2	昔話を通して、地域の方言・生活文化を伝え、一層の文化・伝統の醸成を図る。	206	1	総合	10	午前	6～10月 (第2・4土曜)	横越昔話語り部ソサエティ
	2	婚活「蕎麦打ち体験」	少子・高齢化が大きな社会課題と成っている中、地元で収穫された蕎麦粉を使い「そば打ち体験」を通して男女の出会いの機会を提供する。	210	1	成人	1	午前・午後	11月	横越コミュニティ協議会
	3	横越地区親善スポーツ大会	ソフトバレーボールを通じて、地域の連帯意識の向上と親睦を図る。	65	1	総合	1	午前・午後	6月	地域公民館・自治会 横越コミュニティ協議会 横越スポーツ振興会
	4	よこごしふれあいウォーク2017	横越地区内のポイントをつなぐウォークにより、地域を知りながら親睦を図る。	65	1	総合	1	午前・午後	10月	地域公民館・自治会 横越コミュニティ協議会
	5	文化祭	横越地域で活動している市民の作品展示およびイベント	347	1	総合	1	午前・午後	11月	
	6	新蕎麦「蕎麦打ち体験教室」	地元で収穫した新蕎麦による蕎麦打ち	—	1	総合	1	午前・午後	11月	横越コミュニティ協議会
	7	新春俳句大会	発表会と親睦を兼ねた俳句会	15	1	成人	1	午前	1月	各地区俳句会
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	8	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】	乳児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	178	1	成人	5	午前	9月・10月	
	9	幼児期家庭教育学級【すくすく学級】	幼児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	113	1	成人	5	午前	6月・7月	
	10	児童期家庭教育学級【わくわく学級】	児童期の子どもの発達や親子のコミュニケーションの重要性を学ぶ	86	1	成人	4	午前	後期	
	11	思春期家庭教育学級【きらきら学級】	思春期の子どもの発達、親子のコミュニケーションを深めるためのスキルを学ぶ	54	1	成人	4	午前	後期	
	12	子育てひろば	乳幼児の親子の仲間づくり、情報交換、親子遊び、絵本の読み聞かせ。	125	1	成人	20	午前	毎月第1・3火曜	
4. 青少年の生きる力を育む事業	13	子ども体験活動	小学生対象の夏・冬休み時に実施する体験事業	129	1	少年	2	午前・午後	8月・12月	
	14	夏・冬・春学習室開放	長期休暇中の小・中・高校生対象に学習室を開放	—	1	青少年	50	午前・午後	7月・8月 12月・3月	
	15	夏休み子ども映画会	DVD上映	—	1	総合	1	午前	7月or8月	
	16	春休み子ども映画会	DVD上映	—	1	総合	1	午前	3月	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	17	いきいきセミナー	生きがいと教養を身につける高齢者対象の講座	73	1	高齢者	9	原則午前	5月～2月 (第4水曜)	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	18	プロのパン職人によるパン作り教室	地元の食材を生かしたパン作り	—	1	成人	4	午前	毎月第3火曜日	
	19	女性セミナー	男女の役割を見直し、生活技術を身につける。地域の仲間づくり推進とコミュニケーション能力を身につける。	141	1	成人	5	午前	後期	
	20	ふれあいスクール出前型	中学校・地域教育コーディネーターと連携し、中学校を会場に実施	46	1	成人	未定	未定	後期	横越中学校 地域教育コーディネーター
	21	文化講座	サークル活動に発展するような趣味の講座	—	1	成人	4	午前	後期	
	22	地下道清掃	横越出張所付近の地下道を中学生を中心に、小学生や教員・保護者及び近隣住民で清掃する。	—	1	総合	1	午前	11月	横越小・中学校
合 計				1,853	22		131			